

# 会 議 記 録

政策企画局 まちづくり協働課

開催日	平成 21 年 5 月 27 日 (水)	開催時刻	19 時 00 分から 21 時 00 分
会議名	上田西部地域協議会 (平成 21 年度第 3 回)		
出席者	宮下会長、宮尾副会長、岡本委員、小林委員、佐藤委員、菅沼委員、鈴木委員、 関委員、田村委員、竹内委員、中沢委員、中島委員、祢津委員、廣田委員、布 施委員、森泉委員、横沢孝子委員、渡辺委員 (欠席委員) 早川委員、丸山委員 (事務局) 渋沢まちづくり協働課地域振興政策幹、小宮山まちづくり協働課 課長補佐、堀内まちづくり協働課主査 (説明者) 大沢政策企画局長、伊藤交流・文化施設建設準備室長		
<b>会議次第</b> 1 開 会 (宮尾副会長)  2 局長あいさつ (大沢政策企画局長) 旧市民会館は築後 46 年が経過している。新市民会館の建設については、市の財政状 況も公開したうえで判断していかなければならない大きなプロジェクトである。実質公債 費比率や将来負担比率等の財政指標を見極めながら、今後規模等の決定についてはさら に検討して参りたい。今回、JT 開発地の交流・文化施設のありかたに関する中間報告 がなされた中で、地域協議会の皆さんにその概要を説明し、実際に建設に移していく段 階に今後進むにあたって、皆さんの理解を得ながら検討をして参りたいと考えている。  3 会議事項 (1) JT 開発地における交流・文化施設のありかたについて (交流・文化施設建設準備室) <b>【説明要旨】</b> 資料：「JT 開発地における交流・文化施設のありかた」中間報告 <b>【質問】</b> 質問 (委員) 回答 (交流・文化施設建設準備室) 今後の歳入見込みについても示して欲しい。公債費の見込みについても同様。 中間報告の段階であるので、数値は今後の施設規模によっても変わってくる。 市税については 21 年度が 7 % 程度減、その後 24 年度までは 2~3% の減を見込 んでいる。扶助費については 3% の増を見込んでいる。歳入歳出の総額は 670 億 (H21)、606 億 (H22)、611 億 (H23)、648 億 (H24)、628 億 (H25)、596 億 (H26)、593 億 (H27) を見込んでいる。市債 (借入額) の今後の見込みは、 平成 24 年度がピークを迎えるが、あくまでこれは試算の段階で状況によって常 に変動することを想定している。 中間報告 3 ページの 2 文化創造と都市創造の「主な事業展開の例」にある文化的 環境づくりに「未就学児から・・・環境を整える」とあるが、これは既に予算 額に含まれているかどうか。 現時点では、全ての事業が網羅されて財政見通しをお示ししているという状況で はない。全てをこの段階で積上げることは難しい。今後、中間報告の報告を皆さ			

んにお示しした後、その意見をもう一度検討委員会に返し、その結果を受けて最終の報告を上げていただくことになる。そこで市としては基本計画を作成し、さらに透明性を高めた資料を提供していかなくてはならない。

今の市民会館はどのくらいの規模か。

1330席であるが、設置当時は1500席あった。平成6年度に改修工事を行い座席のスペースを調整したため座席数は減っている。

美術館の展示室はどの位の広さを予定しているのか。

展示室、市民ギャラリー、アトリエ等を含め2500㎡を予定している。

他の地域のホール規模はどうなっているのか。

長野県民文化会館 2173席、まつもと市民芸術館 1800席、軽井沢大賀ホール 800席、佐久市総合文化会館 1500席程度（計画中）、須坂市文化会館 1124席、長野市民会館 1738席

上田にホールができた場合、集客は見込めるのか。

大きな公演大会等を開催する場合、どうしても1500席程度の規模が必要となる場合がある。そういった規模を活かした公演や大会が開催できるメリットもある。また、これまで他地域に流れていた市民のみなさんも上田で開催することによって来て頂けることと考えられる。

議会への説明はどうなっているのか。

説明は特別委員会で行っている。その中で、いくつかの意見をいただいて検討委員会にそれらを示している。

維持管理費についてはどの程度試算を行なっているか。

同様施設の平均値 22,000円/㎡を使用している。この数値は、実際には完成予定の施設規模によっても変わってしまう。中間報告の段階では全国類似規模の施設を想定した維持管理費を試算したもの。

既存の施設についてはどのような経費がかかってくるのか。

丸子文化会館、創造館、信州国際音楽村等、既存の施設についてもその施設の特性を活かした運営は継続していくので、これまで同様の経費が必要になってくる。

中央商店街の今後は？渋滞解消のための道路整備計画は？

JT 開発地を核として新しい賑わいを創出することで周辺の中央商店街地域も人をいっしょに呼び起こそうという計画である。また、道路については上田橋から古舟橋間、櫓下泉平線（上田城跡公園とJT開発地を直接結ぶ道路の新設）などの整備を進めていく。

駐車場についてどのような計画（試算）となっているか。

現段階では1600人（MAX）×0.5（半数が車利用）×0.5（二人乗り）を試算  
今後、最終報告があがった段階で地域協議会に諮る機会があるのか。

現段階では詳細なスケジュールは決定していないが、検討して参りたい。

【意見】「城南地域協議会」としては、駐車場400台の試算について、さらに検討を要す。

【要望】大きな大会（管楽器の信越大会など）を開ける規模が最低限必要ではないか。

この位の大会を想定し、この規模になったという根拠を最終報告では示して欲しい。

(2) 市議会議員との懇談会に対する感想・意見等について

(委員) 第四分科会で想定していた懇談会は、一つの課題について意見を交わすことを想定していた。議員さんの意見も地域協議会に対して様々な理解があったと思う。これからの地域協議会のあり方や位置づけについても議論していかないといけない。

(委員) 議員さんの地域協議会に対する考え方についてもさらに深めていき、お互いの立場で地域がよりよい方向に進んでいけたらと考える。

(事務局) 地域協議会は執行機関の附属機関であるが、その辺の理解は自治会や議会(議決機関)や市の機関に携わる人でもそれぞれわかりづらい面があるので、さらに理解に努めて参りたい。

(委員) 時間的な制約もあり説明のスピードが速かったし聴き取りづらかった。今後検討して欲しい。

(事務局) 意見が活発になりやすい雰囲気ではなかった点が反省点である。

(委員) 第1回目の懇談会でもあったので次に機会があれば、さらに意見の出やすい活発な会議となるよう検討していききたい。地域協議会の活動についての理解がさらに深まる懇談会になるような会議を創っていききたい。

(3) 平成21年度のわがまち魅力アップ応援事業の追加募集について

資料：平成21年度「わがまち魅力アップ応援事業」追加募集のお知らせ

(事務局) 以下の期間・内容で募集を実施します。

- 1) 募集期間 6月1日～6月30日
- 2) 対象事業 全市的な事業を対象
- 3) 選考審査 地域協議会正副会長会
- 4) プレゼンテーション 7月下旬予定
- 5) 事業開始 採択の内示を受け、条件が整い次第
- 6) 申し込み先 まちづくり協働課

(4) その他

- ・今後の活動日程について
- ・意見書の提出日程について

4 次回会議開催について

【決定事項】

時間 平成21年6月24日(水)午後7時から

場所 西部公民館2階講義室

5 閉会